

問

令和3年2月19日、22日、24日に開会した第1回定例会本会議で代表・一般質問を行いました。

代表・一般質問

議案の審議に先立ち、各党派を代表する議員と無党派の議員が、区政全般について質問を行い、区政執行にあたる区長をはじめ執行機関の考えを尋ねました。以下、その要旨を掲載します。

新年度予算に込めた想いは

【問】新型コロナウイルス感染症の影響が深刻であるが、その状況下で編成された令和3年度当初予算案のタイトル『乗り越え、そして踏み出す。あだちから』に込めた区長の想いを伺う。

【区長】足立の力を結集し、コロナ禍のその先を見据え、新たな一歩を踏み出そうという想いを込めた。協働、協創の視点を大切にしながら、業種業態に寄り添ったきめ細かい対策を打ちつつ、コロナ終結に向けて一層力を入れていく。コロナ禍からの次の一歩として、オンライン等を使った新しい区民サービスの向上にも積極的に踏み出すのが予算の特徴である。厳しい状況であるが、その先の希望を区民、地域の方々に示していくことが行政の使命であるため、そうした意味で予算案を構築した。

西新井駅ビル計画を明らかに

【問】①西新井駅西口の東武ストアが解体され1年が経過するが、東武鉄道から将来計画について一切説明がない。東武鉄道とどのように協議しているのか。②今後の計画を対外的に説明するよう東武鉄道に強く働きかけるべきではないか。

【市街地】①協議状況は、仮設エスカレーター整備に関する協定締結を5月頃に予定している。

足立区議会自由民主党

未来へ進もう!!安全・安心

なワクチン接種を早期に!!

自由民主党 かねだ 正 議員



円滑なワクチン接種に向けて

【問】①高齢者の新型コロナウイルスはどうか。②一般の区民のワクチン接種はいつ頃できる見込みか。③接種率を高めるには集団接種と並んで個別接種の強化が重要であるが、区の考えはどうか。④個別接種についての医師会との調整・連携はどうか。

【ワクチン】①優先接種対象の65歳以上の高齢者には3月下旬に接種券を発送し、4月17日から集団接種を開始予定である。②4月下旬以降、順次接種券を発送し、遅くとも7月上旬からの接種開始を想定している。③個別接種は集団接種と並んで重要な柱と認識している。ファイザー社製ワクチンを使用した個別接種の条件が緩和されたため、接種体制を早期整備すべく医師会と協議を進めていく。④副反応発生時の緊急医療体制も含め、医師会感染症対策委員会とのWeb会議を毎週月曜日に行い、検討を重ねていく。

動物愛護ボランティアに支援を

【問】コロナ禍でペット動物の需要が高まる一方、飼育維持が困難になる人が多くなり、野良猫が増えている。野良猫の保護・譲渡のボランティアが不妊去勢手術を行い地域に戻しているが、区の不妊去勢手術費助成が全額ではなく、差額を負担している。手術と同時にノミ駆除等の医療費や移送費等も負担しており、ボランティアに財政的な支援が必要ではないか。

【衛生】現在実施している不妊去勢費用の助成に加え、医療費等への支援を検討する。

効果的なICT教育とは何か

【問】国のGIGAスクール構想を受け、令和3年度から児童・生徒が一人一台のタブレット端末を活用したICT教育を進めていくことになる。区教委の考えるタブレット端末の教育的効果のある活用方法とは何か。

【教育長】タブレット端末の教育的な効果は、児童・生徒一人ひとりの興味や関心、学習進度に応じた学びに活用されるときに最も高まると考える。その前提として、授業の中で適切に活用していくことが必要である旨、外部有識者から指摘があったことから、まずは足立スタンダードの授業での活用を中心とした方策を基本方針に盛り込んだ。



災害対策のデジタル化と

千住の未来を見据えた施策

自由民主党 渡辺 ひであき 議員



無電柱化で安全な千住の街に

【問】北千住駅西口周辺地区は、ミストの設置や駅前照明のLED化等で街の魅力が格段に上がったが、さらに多くの人が訪れることで災害対策上の課題も増している。千住一丁目タワーマシオン周辺については、無電柱化が行われると聞くが、北千住駅西口周辺の地域は多くの方が回遊しており、安全安心を担保するためにも無電柱化は必須と考えるがどうか。

【都市建設】旧道沿い等、北千住駅西口周辺地区は、幅員の狭い道路や歩道のない道路が多いため、技術面において多くの時間と費用が必要となるが、無電柱化は必要不可欠と考えており、着実に取り組んでいく。

より魅力のある千住を目指して

【問】北千住駅から千住大橋駅までには松尾芭蕉「奥の細道」出立の地や旧日光街道宿場町としての歴史的資源がありながら活かしきれていない現状がある。今までクローズアップされなかった参勤交代も織り交ぜアピールすることでリアルな宿場町としての魅力を高められるのでは。

【産業経済】現在、足立成和信用金庫主体で、日光街道各宿場の来街者の増加を狙った「御宿場印」の販売企画が進められており、区観光交流協会が全面協力している。今後、参勤交代等の史実を多くの方に知ってもら

区民の命を守るデジタル化とは

【問】東日本大震災から10年を迎える。教訓を活かすのはもちろんのこと、その事実を決して風化させてはならない。区民の生命と財産をどのように守って、当然のことながら、災害対策の要望が様々な形で膨らんでいる。その中で災害情報システムの再構築が進んでいるが、最も大切なことは地域防災計画と連動し

えるよう努め、千住地域の魅力を積極的に発信していく。

竹の塚エリアの今後と未来に向けた環境政策について

自由民主党 くじらいい 実 議員



見通しの良いエリアデザインに

【問】いよいよ令和3年度末に竹ノ塚駅が高架化され、時を合わせるように竹の塚エリアデザイン計画が策定される。計画は30年先を見据えて策定されるが、地域の方に短期的な事業を明らかにすることも重要であり、短期・中期・長期的な取り組みを示す計画とすべきではないか。

【政策経営】計画策定にあたっては、地域の意見を十分に聞き、駅前広場整備や今後の人の流れ等を踏まえた上で、短期及び中長期的な視点を取り入れ、まちづくりの取り組みをわかりやすく示していく。

た運用とオペレーションの互換と書き換えの容易さである。それらは担保されているのか。

【危機管理】新たな災害情報システムは地域防災計画に連動し、職員が対応すべき行動をチェックリスト形式で表示する。

また、計画の修正に速やかに対応する等、オペレーションの互換と書き換えを容易に行える機能を担保したシステムとする予定である。



竹ノ塚駅の高架下利用は

【問】竹ノ塚駅高架化の後に区民が期待するのは、まちづくりとともに高架下の利用方法である。高架下の利用に関する工事の時期や実際に区民が利用できるのはいつ頃になるのか。

【鉄道立体】工事は、赤山街道と駅舎の間が令和5年度から、その他の区間は鉄道高架化工事の進捗にあわせて順次、着工可能となる。早い所では令和6年度の利用開始を目指し、東武鉄道と協議を進めていく。

【問】脱炭素社会の実現を目指す、国は「2050年カーボン

*ワクチン接種に関する答弁は、令和3年2月19日現在のものです。